

久留米大学を受診した患者さんへ

「乳房外パジェット病の血栓傾向に関する臨床研究」の研究に使用する資料について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の資料を使用します。

- 1) 期間：平成 23 年 1 月から平成 27 年 12 月
- 2) 受診科：皮膚科
- 3) 対象疾患名：乳房外パジェット病
- 4) 使用する資料：診療録

あなたの資料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：皮膚科
研究代表者：准教授 大畑千佳
研究分担者：教授 名嘉真 武国
助教 猿田寛
助教 今村太一

2) 研究の意義と目的：乳房外パジェット病は手術後に安静にする期間が長く、静脈血栓ができる危険性の高い病気です。今回の研究でどのような患者さんが血栓を起こしやすくなるのかを検討します。今回の結果は乳房外パジェット病だけでなく、皮膚科手術を受けるすべての患者さんの術後の血栓症を防ぐために役立つと考えています。

3) 研究の方法：日常診療で用いられている診療録から検査結果やその他データを収集する。

4) 研究期間：平成 23 年 8 月倫理委員会承認後～平成 33 年 7 月 31 日

5) 上記の資料の使用を選定した理由：使用する資料が乳房外パジェット病と確定診断がついていたため。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：個人情報情報の漏えい防止のため厳格に資料や資料は保管します。

7) 研究成果の発表の方法：学会及び論文発表

8) その他：特定企業からの資金援助はないため、利益相反は発生しません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

大畑千佳 (久留米大学皮膚科 准教授)

福岡県久留米市旭町 67

(TEL) 0942-31-7571、(FAX) 0942-34-2620

研究番号 16098